

臨床データ利用のお願い

松蔭シニアホスピタルでは、以下の研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることを希望されない場合など、お問い合わせがありましたら以下の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名:アルツハイマー型認知症におけるてんかんの調査

1. 研究の対象

松蔭シニアホスピタルに通院・入院中のアルツハイマー型認知症患者

2. 研究の目的・意義

アルツハイマー型認知症の患者さんは、けいれん発作およびてんかんの危険性が上昇することがいわれていますが、これまでの研究では、てんかんの診断が正しくなされていない可能性があります。てんかんの診断には脳波検査が非常に有効ですが、過去の報告の多くでは、脳波検査は行われていないか、行われていたとしても脳波異常が検出された少数の例について検討しているにすぎません。アルツハイマー型認知症の患者さんがどれくらいてんかん発作を起こすのか、正しく診断するために脳波検査を行うことの有効性を検討するための研究で、豊田厚生病院の倫理審査委員会の許可を得て、松蔭シニアホスピタルで行うものです。これまで正しく診断されてこなかった可能性のあるアルツハイマー型認知症患者のてんかんについての知見を得ることにより、有効な治療へつながる可能性があります。

3. 研究方法

松蔭シニアホスピタル入院中のアルツハイマー型認知症の患者さんに脳波検査を行います。脳波検査を行った患者さんの過去のカルテ記録を参照し、けいれん発作・てんかん発作の有無を調査します。さらに、普段通りの入院生活を送っていただくなかで、けいれん発作・てんかん発作の発生を観察します。その他、年齢、性別、血液検査の結果、画像診断結果などのカルテ情報を使用します。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

MRI 結果、MMSE 結果、脳波所見、血液検査 (FT4、TSH、ビタミン B1、eGFR、NH3)、AD 診断日、生年月、性別、BMI、内服薬、既往歴、家族歴、多量飲酒歴

5. 外部への試料・情報の提供

この研究で得られた患者さんの情報は松蔭シニアホスピタルにて匿名化された上で、電子的なデータで共同研究機関の豊田厚生病院および愛知医科大学病院にて解析します。対応表は、松蔭シニアホスピタルの施錠管理可能な場所で保管します。

6. 研究組織・研究分担者

豊田厚生病院精神科 渡邊周一(研究責任者)

愛知医科大学病院精神神経科 兼本浩祐 (分担者)

松蔭シニアホスピタル 小川周二(分担者)

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

施設研究責任者: 松蔭シニアホスピタル 小川周二

〒454-0926

愛知県名古屋市中川区打出 2 丁目 347 番地

電話: 052-352-3250

研究代表者: 豊田厚生病院 精神科 渡邊周一